

女狀

白秋全集
29

歌謡集
1

白秋全集 29 第二回配本(第Ⅱ期二五～三七卷・別巻二)

一九八七年二月五日 発行

定価三八〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋二丁目五
発 行 所 株式会社 岩 波 書 店

電話(三十三五)二二四二
振替東京六二六四〇

落丁本・乱丁本はお取替いたします

目次

『白秋小唄集』

銀に緑・	五
城ヶ島の雨	五
千鳥	六
短夜	六
秋の鄙唄	八
垣の壊れ	八
池の真菰に	八
鴨の鳴く声	九
雁が啼きます	九
せめて急ぎやれ	二〇
祭物日に	二〇

何を騒ぐぞ	二
千羽雀でも	二
しよんがいな	三
萱野の煙	三
芭蕉	三
とまり舟	三
萱野の煙	四
火の見櫓の	四
下りてくれるな	五
萱の千駄も	五
女乞食	六
空に真赤な	七
空に真赤な	七
あかい夕日に	七
びいる樽	八
かるい背広を	八

金と青との	一八
薄いなさけに	一九
歌うたひ	二〇
薊の花	二〇
歌ひ時計	二〇
朝の水面	二二
青いソフトに	二二
意気なホテルの	二三
芥子の葉	二三
芥子の葉	二三
片恋	二四
春の鳥	二四
泪芙藍	二五
カステラ	二五
あらせいとう	二六
もしやさうでは	二六

青い小鳥	元
青い小鳥	元
小児と娘	三
秋の日	三
足くび	三
人形づくり	三
柳河時花歌	七
旅役者	七
紺屋のおろく	七
柳河	元
NOSKAI	四
かきつばた	二
AIYANの歌	三
牡丹	三
気まぐれ	三
道ゆき	四

目くばせ	四
六騎	五
片足	六
草の葉つば	七
畑の祭	七
百姓唄	五
草の葉つば	五
三浦三崎	四
城ヶ島の娘	五
真珠抄	六
真珠抄 短唱	六
永日礼讃	六
源吾兵衛	六
月光礼讃	六
巡 礼	六
雪の山路	六

酒の黴(一二二十五)	其
槍 持	金
槍 持	金
道化もの	六
野茨に鳩	七
野茨に鳩	七
雀をどり	八
附 録	九
『生ける屍』の唄	一〇〇
さすらひの唄	一〇〇
にくいあん畜生	一〇一
こんど生れたら	一〇三
『カルメン』の唄	一〇五

『日本の笛』

煙草のめのめ	104
酒場の唄	107
恋の鳥 カルメンのうたふ小曲	108
別れの唄	111
山の唄	113
白秋小唄集覚え書	114
民謡私論	117
南風の港	124
鮪組	126
鳥賊つり舟	128
かかり船 尺八調	131
今宵今晚 尺八調	134

夜積みの掛声	一五
搗布とたんぽぽ	一七
搗布焼く火	一八
旅の大船	一九
沖の大船	二〇
親船小船	二一
浪の音	二二
鯨と海豚	二三
鳴の燈明	二四
城ヶ嶋	二五
磯の燕	二六
海女	二七
月夜の海女	二八
かはい男と	二九
海の雀は	三〇
夏が来たかと	三一
白南風黒南風 油壺のうた	三二
あの子とろり子	三三

おまへ網舟	．．．．．	一六
帆かけ	．．．．．	一八
沿海雑曲	．．．．．	一三
紅提燈	．．．．．	一四
この子あの子	．．．．．	一六
椿日和	．．．．．	一九
女護が嶋	．．．．．	一三
伊達のお腰	．．．．．	一三
紅い椿	．．．．．	一四
落つばき	．．．．．	一五
恋の流人か	．．．．．	一六
ぬしは牛飼	．．．．．	一七
お国衆なら	．．．．．	一八
出舟	．．．．．	一九
沖の小嶋の	．．．．．	二〇
大嶋	．．．．．	二〇

パパヤの花	104
小笠原群島	105
南の海	106
びいでびいで	108
仏草花	110
嶋はよいとこ	111
驟雨 シゲル	113
夏の宵月	114
星の夜	116
夕風	118
南海の恋	119
嶋のあひびき	121
関守	123
追分	124
山で	126
嶋で その一	128
嶋で その二	130

日の入り	三六
月に一度	三六
今俊寛	三六
時化前	三六
待てば海路の	三六
阿呆の	三六
すぐにつかまろ	三六
椰子の薄黄の	三六
離れ小嶋か	三六
何の煙ぞ	三六
何を見てゐる	三六
嶋の鶯	三六
嶋の日永に	三六
くるくからく	三六
嶋の日永が	三六
郷愁	三六
嶋のたより	三六

風 虹 二四

後 朝 三曲 二五

沖は晴れかよ(二三)

沖は遙かよ(三二)

沖は雪かよ(二五〇)

片浦千鳥 二五

遠い岬 二五

祭もどり 二五

鱒 網 二五

遠漁火 二九

風 虹 二〇

たまの機嫌と 二一

紫まつげ 二五

紫まつげ 二五

羽根帽子 オペラのボックスにて 二五

雪は紫 二六

月は桃色 二七

あれは濠端	．．．．．	二六
オペラ戻り	．．．．．	二六
尺八のながし	．．．．．	二七〇
バアの主人	．．．．．	二七二
橋の下のお菰	．．．．．	二七二
ニヒリスト	．．．．．	二七三
乞食学校	．．．．．	二七三
わつしよわつしよで	．．．．．	二七五
蟹味噌	．．．．．	二七七
博多古調	．．．．．	二七八
玄海雑曲	．．．．．	二八一
筑後柳河	．．．．．	二八六
矢部のやん七	．．．．．	二九三
五嶋の権十	．．．．．	二九五
柳河河童で 自嘲	．．．．．	二九八
蟹味噌	．．．．．	二九八
三瀨と沖の端	．．．．．	三〇〇